



2023年11月15日 第169号
 NPO 法人町田市学童保育クラブの会
 所在地 町田市中町 1-19-5
 大貫ビル 202
 電話 042-794-7235
 広報担当 発行

法人設立 20 周年を迎えました

おかげさまで当法人は 2003 年に設立以来、今年で 20 周年を迎えることができました。これも皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。つきましては、法人設立 20 周年記念式典を下記の通り開催いたします。保護者・会員の皆様はぜひご参加ください。

(参加を希望される方は、法人事務局までご一報ください。)

日時：2023 年 12 月 10 日 (日) 13:30~16:00

場所：町田市立国際版画美術館 講堂



町田市内学童保育クラブ絵画作品展

毎年行われる町田市社会福祉協議会主催の『町田市内学童保育クラブ絵画作品展』の作品募集が今年も行われ、当法人が運営する学童保育クラブから 2 名の児童の作品が入賞しましたのでご紹介いたします。今年のテーマは『わたしがドキドキするとき』です。入賞おめでとうございます。作品は、12 月 7 日～12 月 10 日まで町田市立国際版画美術館で展示されます。



しょうじ はるき
 金井クラブ 庄司 悠生さん

『えものをさがしているブラックマンバ』



しみず まさおみ
 金井クラブ 清水 政臣さん

『大すきなさかなつり』

親善ソフトボール交流会

親善ソフトボール交流会を 9 月 23 日 (土) 相原中央グラウンドにて開催いたしました。新型コロナウイルスによる行動制限も緩和され、4 年ぶりの開催です。親善ソフトボール交流会は保護者同士の交流を図ることが目的で、今年度は職員も含め 65 名の参加がありました。どの試合も白熱した好ゲームで熱戦が繰り広げられました。ご参加いただいた皆様ありがとうございました。



目次

1 面：法人設立 20 周年

町田市絵画作品展 親善ソフトボール交流会

2 面、3 面：子どもの SNS との関わり方

4 面：連載企画『OOクラブといえばコレ!』

ぷちくれよんひろば (子育て支援事業) 予定

(開催クラブは法人 HP をご確認ください)

12 月開放：6 日、13 日 企画：20 日

1 月開放：10 日、17 日 企画：24 日



子どもの SNS との関わり方 ～ご家庭での SNS のルール～



近年、通信環境の発展に伴い、子どもたちも簡単にインターネットや SNS にアクセスして情報を得たり、離れた人とのやり取りができたりするようになりました。しかし、利便性の裏にある危険から子どもを守るためにどのような決まりや、工夫をしているのか保護者の方に伺いました。また、SNS を利用する上で実際の事件や配慮した方がよいことを町田警察署の生活安全課の方からもお話をいただきました。ご家庭で再確認する機会としてご活用ください。

我が家は 3 人兄弟。長男も次男もすでに成人年齢に達しているのですが、小 5 の三男とは SNS との関わり方、その必要性も異なります。その状況で三男だけに強制的にルールを決めても、素直に従うのは難しいと考え、現時点では「お母さんたちの前で見てね」「どんな物を見ているか確認するよ」の声かけに留めています。兄弟や家族との会話の中から、SNS の様々な側面についてしっかりと伝えていかれるよう心がけています。

つくし野クラブ 5 年生保護者



スマホやゲームは大人もハマりやすく怖いけれど見ないのは無理なので、①宿題や明日の学校準備をしてから②お風呂上がりから夕飯まで、親が在宅で仕事中の 30 分など時間を決めて、30 分以上の時は一度、目を休めるなどルールを決めています。YouTube は誘導するような子どもが見てほしくない広告も多いため、時々何を見ているか見せてもらいます。「嘘も多いから信じないように」と全て信頼できない情報だとできるだけ伝えていきます。

鶴川クラブ 3 年生保護者

日常的にスマートフォンやタブレットを子供達も使うようになり、SNS に関わる機会も増えていると思います。その中で、注意している事はアプリ等をとる時は、親への確認をとるようにして、これなら大丈夫かなど使い方をしっかり話すようにしています。

なるべく危ない事がないように、しっかり考えるようにしています。

なかよしクラブ 4 年生保護者





子どもの SNS との関わり方 ～町田警察署より～



今の小学生は、パパママ世代の子どものころとは全く違い、生まれたときからスマートフォンやタブレットなどインターネットに触れることが出来るデジタルネイティブ世代です。

遅かれ早かれスマートフォンなどの端末を使いこなしていくことになると思います。

SNS は、上手に使えばコミュニケーションツールとして便利ですが、使い方を間違えると思わぬトラブルや犯罪に巻き込まれるリスクもあります。

その中でも児童ポルノ事犯『自画撮り被害』が増加傾向で令和4年中に児童ポルノ事犯の被害にあった児童は、警視庁が扱っただけでも100人であり、そのうち40人が自画撮り被害にあった児童です。

学識別では、小学生12人、中学生17人、高校生10人で、特に小学生が前年と比べ7人も増加しており、年々増加傾向にあります。

その中でどのようなトラブルがあるのかを紹介します。

だまされて裸の画像を送信



他府県に住む男が『小学6年生の女の子』を装い、SNS上で自己に見立てたアバターを作成し、ダイレクトメッセージ機能を利用して小学生の被害女児（9歳）と知り合い、同女児に対し「胸が小さいことを悩んでいる」等と送信するとともに、いずれから入手した氏名不詳者の女児が胸部を露出した画像を送り付け、「そっちも送って」等とわいせつな画像を送信するよう要求し、同女児が撮影したわいせつ画像データを自己のスマートフォンに送信させた事案があります。

「自画撮り被害」にあわないようにするために



○交際相手、友達等の信用している相手であっても、自分の裸の画像を送らないこと。とりわけ、面識のない者に対して画像はもちろん、個人情報の一切を送らないこと。ひとたび画像がインターネット上に流出すると、不特定多数の者に繰り返しコピーされ、全ての画像を削除することは非常に困難です。

○友達等の裸の画像を送ったり、送るように求めたりしないこと。友達等の裸の画像をスマートフォンに保存した場合は、児童買春・児童ポルノ禁止違反となります。

○万が一、自画撮り被害にあってしまった場合や、画像を送るよう要求されている場合は、必ず大人に相談すること。

他にも多々ありますが、我が子を SNS から守るためには、家庭のルール作りが一番大切だと思います。

親として、「知らなかった」、「わからない」で済ませず、子どもが SNS を利用するのなら親の責任の下で利用するようにしましょう。

●●クラブといえばコレ！

今年度は 13 クラブの紹介コーナー『子どもたちの思う〇〇クラブといえばコレ！！』をテーマに、自分たちのクラブの特徴・おすすめを、代表の子が絵で表現していきます。169 号では大戸のびっこクラブ、南大谷クラブ、大蔵クラブの子どもたちによるイラストを掲載しています。子どもたち視点のクラブ紹介をお楽しみください。※説明文は子どもと相談して支援員が書いています。

大戸のびっこクラブ



大戸のびっこクラブの子どもたちが通っているゆくのき学園にはヤギが2頭います。名前は『シロ』と『ハク』です。小学校の芝生校庭で遊ぶ時は、エサをあげたりなでてあげたりしてヤギと触れ合っています。夏休みや冬休みには、子どもたちがヤギ小屋の掃除や散歩をする『ヤギ当番』となり、お世話をしています。高学年ともなるとヤギの散歩はお手の物で、あちこち動き回るヤギに声をかけながら手綱で上手く誘導し柵の中に戻しています。

南大谷クラブ



南大谷クラブは在籍人数、約 120 名の子どもたちが過ごしています。

そんな南大谷クラブでは自由活動の時間にたくさんのおそびをしています。

このイラストは、南大谷クラブの子どもたちが過ごす『工作』『どぼん』『折り紙』など思い思いのおそびをしている様子です。

大蔵クラブ



大蔵クラブは在籍児童数が 159 名の大規模クラブです。むかしから飼っている大蔵クラブのカメの絵です。『アカミミガメ』と『ミドリガメ』が一匹ずついて、時々タマゴを産みます。冬場は冬眠をして春になったら自分でそのそと出てきます。頭の良いカメでエサの音が聞こえると寄ってきます。